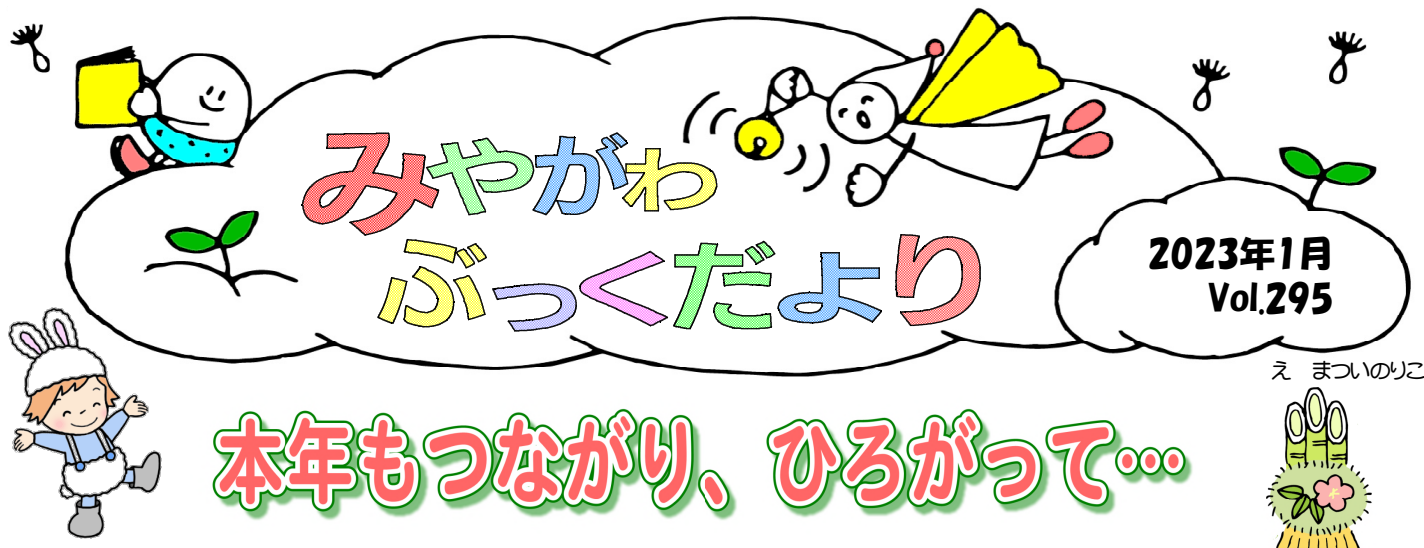




本年もつながり、ひろがって…

あけましておめでとうございます。
本年もこれまで同様、絵本と紙芝居の世界でみなさまとつながっていければと存じます。
どうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、当店65周年を記念して、店主橋村の思いや活動をまとめた記念誌を12月7日に発刊しました。早速お読みいただいた方々から、嬉しいお声をいただいております。ありがとうございます。

「絵本のメッセージ性は普遍です。自分の知っている絵本もたくさん載って嬉しかったなあ」(K様)

「みやがわ書店がたくさんの人たちから愛され、必要とされているのが、この一冊から伝わってきました」(M様)

「まるで橋村さんが側で語ってくれているかのようで、一気に読めました」(F様)

「橋村さんの人生の積み重ねがギュッと凝縮されて、とても読み応えがあります。嬉しい本です。たくさんの方に愛され、心を繋ぎ合い、支え合ってこられた橋村さんの魅力にあふれる本ですね!」(K様)

「橋村さんの活動は、長年、平和を願う信念を貫いていて、それを外に向かって発信する力をお持ちです。平和を願う人はたくさんいますが、こういうふうに広く発信できる人は少ないと思います」(F様)

内田麟太郎さんのブログでもご紹介いただきました。
<https://oni.la/Gpgeqg6>
短縮URLです



みやがわ書店創立65周年記念
つなぐ ひろがる
絵本と紙芝居の世界から

B5版 142ページ
装画 松本春野
頒価 1,500円(税込)
郵送も承ります。
電話・FAX・メールにてお申し付けください。

お知らせ

2023 1

日	月	火	水	木	金	土
1 休業日	2 休業日	3 休業日	4	5 定休日	6	7
8 定休日	9 紙芝居ピッポの会ミニ講座	10 大人のための絵本の時間	11	12 定休日	13	14 おはなし会
15 定休日	16	17 おはなし会	18	19 定休日	20	21
22 定休日	23	24	25	26 定休日	27	28 おはなし会
29 定休日	30	31	年始は1月4日より営業します。 1月9日(祝)は営業します。			



おはなし会

14日(土) 14:00～
17日(火) 11:00～
28日(土) 14:00～

大人のための絵本の時間

10日(火) 10:00～

大人も絵本を楽しみたい!

紙芝居ピッポの会ミニ講座

9日(月) 14:00～

お正月&うさぎ年
コーナー
ご用意しました



※ホームページでもぶっくだよりが読めます。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで



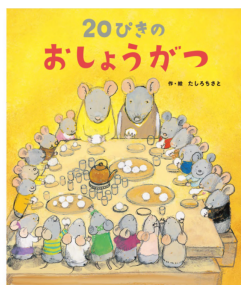
えほんと童話の店

みやがわ書店

〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)

●電話・FAX 0596-22-4317 ●Eメール ehonbaba@gmail.com
●定休日 毎週日曜日・木曜日 ●営業時間 AM10:00～PM6:00
●ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>





「20匹きの
おしょうがつ」
作・絵 たしろちさと
ひかりのくに 1,350円

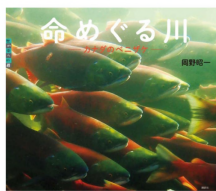
どんなお正月を過ご
しましたか？地域によ
って、家族によって、
いろいろな迎え方が
ありますね。さて、床
下に住むネズミの大
家族達も楽しくてあっ
たかいお正月を過ご
しました。



「ふんが ふんが」
おおなり修司 文
丸山誠司 絵
絵本館 1,540円

この本は動物語!?
で書かれた絵本。
ゴリラのパパが「ふ
んがふんが ふん
が」…なんて言っ
てるか分かるでしょ
うか…大丈夫、ちゃ
んと通じます！

新刊紹介



「命めぐる川」
岡野昭一
KODANSHA
1,760円

命を産み出す大仕
事と、サケの一生
が写真によって記
録された本。4年
に1度のビッグラン
(大遡上)を追いか
けながら考えた地
球環境とは。



「ごちゃまぜ
カメレオン」
エリック・カール さく
やぎたよしこ やく
偕成社 1,650円

みやがわ書店の宝物
“ごちゃまぜ動物”
のように、子どもたち
と描いてきた経験と
「カメレオンが体の色
以外も変えることが
できたら…」というア
イディアから生まれた
本です。



「きみだけの
夜のともだち」
作 セング・ソウン
・ラタナヴァン
訳 西加奈子
ポプラ社 1,980円

夜が怖いガスパール。
「ぼくに夜だけのともだ
ちがいてくれればな
あ」と願っていると・フ
ランス生まれの絵本な
のに、どこかレトロな日
本の面影がある絵にう
っとりします。



「たんぽぽ ぽぽぽ」 井上コトリ 絵
内田麟太郎 詩集 銀の鈴社 1,760円

子どもたちにもわかる言葉で真実の世界をう
たうジュニア・ポエムシリーズ。
楽しさや、おかしさや、悲しみが詰まっています。

大人コース



「世界はこんなに美しい」
エイミー・ノヴェスキー 文
ジュリー・モースタッド 絵
横山和江 訳
工学図書 2,200円

バイクで世界一周した、
初めての女性アンヌが見た
もの、出会ったもの、つか
んだものが語られます。

アンヌを包む空の色は自
然の色そのままでなく、時
間や場所、心の模様によっ
て様々に表現されている
すてきな絵です。

世界を知り、世界の中の
自分を確かめに行ったアンヌ。
現実から抜け出す思い切り
の良さがカッコイイ！

又、作者ノヴェスキーさん
がアンヌに会う旅に出たこ
とも意味があります。アン
ヌが旅した時とは世界情勢
が違っています。「簡単に
国境が越えられるのは、い
かに幸運であるか」とし、訪
れた場所や人に敬意をも
って描きだしたと言ってい
ます。

現実を包む大きな世界
を感じる方法は人それぞ
れ。かわり映えのしない毎
日も、自分の心が変われ
ば新鮮なものになりそう
な、そんな勇気を与えてく
れる本です。 (さつき)



「まよなかのゆうえんち」
作 ギデオン・ステラー
絵 マリアキアラ・ディ・ジョルジョ
B L 出版 1,760円

森に移動遊園地がや
ってきた。人間達が
楽しそうに遊んだ後
の真夜中の時間。森
の奥から動物たちが
集まってきました。文
字がなくとも動物た
ちの会話がきこえてく
るようです。

新刊紙芝居



「火をとりにいったウサギ」
脚本 津田慎一
絵 スズキコージ
童心社 2,090円 12場面

世界がとても寒かった昔、火は山のでっぺん
にしかありませんでした。恐ろしい男達に守ら
れた火をウサギは盗み出しましたが…